

2019年10月度（第371回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2019年10月17日（木）14:00～17:00

開催場所：日本図書館協会会館2階 研修室

参加人数：14人

記入者：松田 真美（医学中央雑誌刊行会）

井上 彰（日本医薬情報センター）

## 前半：「MEDLINE 収録 国内医学雑誌の経年分析」について

「MEDLINE 収録 国内医学雑誌の経年分析」について医学中央雑誌刊行会の松田より報告した。この報告は「第16回情報プロフェッショナルシンポジウム」にて2019年7月4日に発表した演題「MEDLINE 収録 国内医学雑誌の経年分析（第4回）：採録数の減少と電子データの重要性」（松田真美,黒沢俊典,林和弘）に若干の追補・修正を行ったものである。

### 【報告の概要】

2010年、2013年、2016年、そして2019年と、「MEDLINE 収録の国内医学雑誌」を対象に「論文の言語、電子化状況」「プラットフォームの国内／海外の割合、ならびにサービスごとの割合」「インパクトファクターの分析」の定点観測を行ってきたが、2019年の調査において2017年に多くのジャーナルが収録中止となったことが判明した。

10年間の経時変化、ならびに2017年の収録中止の理由—NLMの入稿ポリシー変更への対応が行えなかったなど—について報告した。（別添の発表資料参照のこと）

### 【質問、ご意見など】

- ・ 収録中止となった雑誌のうち多くが伝統ある雑誌、とのことだが、具体的にはどういう雑誌のこと？
  - （紙媒体での）発行年が古い雑誌、との意である。
- ・ I/Fの経年変化については、平均値ではなく個別に見ていくほうが良いと思う。
- ・ 「この雑誌が収録されていなくなっている」など気づかれた方は？（医中誌より質問）
  - 確かにあれ？と思うものはあった。
- ・ NLMにおいて「発行国」は何をもって判断しているのか？
  - 何年前かに調べた際には、エディトリアルの本拠があるところ、との回答だったと思うが、もう少し確認・理解する必要がある。
- ・ 2017年に収録中止となった雑誌は、3年間、再度の申請ができないということか？
  - 3年間申請できないのは、「申請が通らなかった場合は3年間は再申請できない」という意味。2017年に収録中止となった雑誌はこれには該当しない。

## 後半：PubMed Labs 関連まとめ

今冬リニューアルを控えた PubMed（※2019/11/18 に正式に公開のアナウンスがあった）について、12月のPubMed勉強会の公開講座を前に、公開されている情報の整理やリニューアルの試験サイト PubMed Labs を実際に試して使ってみた結果などをメンバーで共有した。

### ◇主なりリニューアル内容

- ・ 検索機能の強化と Web サイトのデザイン刷新
  - ・ 前方一致機能の充実（600word 限界の解除）
  - ・ 機械学習アルゴリズムに基づくソート機能
  - ・ 全文検索エンジン Solr や MongoDB 等のオープンソース系ソフトを利用したシステム構築

### ◇リニューアルの時期

- ・ 2020年春に新旧のデフォルトを変更すると 11/18 に正式発表された。一部検索エンジンからは、新しい PubMed が表示されるようになっているとの事である。

### ◇試行による新旧の差

- ・ 同一の検索語からの Auto Term Mapping による検索式の変換が新旧で異なる
- ・ 履歴検索の挙動の変更？（Solr 特有の仕様か？）
- ・ History からの Search Details 表示が追加
- ・ RIS 形式の追加、CSV 形式は新旧で項目が異なり、MEDLINE 形式や XML 形式は未対応（12/2 現在も。削除か、今後追加予定なのかは不明）

### 【質問や、意見交換等】

- ・ 新旧間での同一検索式による検索結果件数の差の原因として、PubMed Labs では Best Match Sort が標準に設定されているのではとあがった。従来の PubMed でもこの Sort は選ぶことができ、Sort の機能ではあるが実際には別の検索が行われるため、他の Sort では見られない件数の変動が生じる。
- ・ E-Utilities（PubMed の Web-API）に関しての変更の影響の情報が乏しい。問い合わせた返答として、変更があれば周知する、とのことであった。
- ・ 書誌事項に関して、NLM 側ではなく出版社にデータの調整を委ねているとのことであった。

以上